



# 学校だより

小和田小学校

令和4年 6月号

## 学校教育目標

「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

## 学校経営方針

一人ひとりを大切に、社会力のある人を育み、みんなの笑顔がある学校

## 安全な登下校に向けて

校長 大野 洋

雨が降って肌寒いと思えば、厳しい日差しで蒸し暑さを感じるなど天候の変化に戸惑うこの頃です。授業中、校庭では競技の練習で友だちへの声援が響き、昼休みには応援団の太鼓の音が響くなど、運動会が近づいてきていることがわかります。また、2年生が辻堂海浜公園へ、3年生が大庭城址公園へ歩き遠足に行ってきました。3年生は予備日での実施でしたが、両日ともとても天候に恵まれ、子どもたちはのびのびと体を動かすことができたようです。遊びすぎてしまって、帰りがへとへとになってしまう子もいたようですが、何とか無事に終えることができました。コロナ禍ですが、対策しながら様々な活動を行っています。

1年生を対象にした交通安全教室が、5月19日（木）に行われました。正しい交通ルールを身につけ、毎日安全に登下校できるようにと、市の安全対策課と警察署の指導のもと毎年行っています。そして今年もまちちから協議会や推進協、こわだ会の方が大勢応援に駆けつけてくださいました。グラウンドに設置された道路を実際に歩きながら、正しい歩き方や横断の仕方を教えていただきました。また、体育館では映像や警察官の方のお話で、自分の身を守る方法について学びました。翌日校門で子どもたちの様子を見ていたのですが、左右をしっかりと確認してから道路を横断するなど、学んだことを早速生かして登校する様子が見られました。教えてもらったことをスポンジのように吸収して、自分に生かす子どもたちの力には驚かされます。



昨年度、市の統計では交通事故が7歳（1年生～2年生）に集中して発生しています。この時期の子どもは、興味を引く対象などが現れると道路の安全を確認することなく飛び出し、交通事故につながってしまうことがあるようです。一人で緊張して歩いているときは安全を意識しているのに対して、複数でおしゃべりしたりふざけてしまったりしていると夢中になってしまい、安全に対する意識がおろそかになってしまうことも原因のようです。ご家庭でも、横断歩道の渡り方、飛び出しや道路遊びの危険性など、折に触れて話していただくようお願いいたします。学んだことを一時で終わらすことなく『魔の7歳』と言われるこの時期の子どもたちの命を守るために、継続して指導していきたいものです。

そして、登校時間に旗振りをしてくださっている地域の皆様、保護者の皆様、雨の日も風の日も子どもたちの安全のためにご尽力いただき、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。